

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 看取り介護を必要とするお客様の受け入れを開始して1年以上経つが、ケアの基本と手順、ご本人の尊厳の保持、ご家族への支援や配慮等、未だに改善の余地がある。	ご本人、ご家族に有意義な時間を過ごしていただくことができるよう、関与する職員全員が同水準のケアを実施すると共に、情報の共有、緊急時の対応方法も周知しておく。	事業所内研修の実施 ・終末期のケアの基本、ご家族への支援 同一敷地内他事業所との連携 ・看護職員によるモニタリング及び指導 ・緊急時のフォロー体制の整備	12か月
2	36	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 認知症の進行による周辺症状への対応について、その背景の理解不足がある。 お客様一人ひとりの身体の状態の把握についても理解不足がみられる。	お客様の尊厳を保持するため、認知症の進行による周辺症状について、その背景を理解し、寄り添ったケアを実践する。 お客様一人ひとりの身体状況の把握に努め、適切な身体ケアを実施する。	事業所内研修の実施 ・認知症の症状に関する基礎知識と対応 ・尊厳の保持、プライバシーの保護 ・不適切ケアについて ・身体拘束について	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。